

職員による自己評価

A業務改善

- ・ 会議のあり方、参画の仕方、業務の効率化などに課題がある
- ・ 系統的な研修およびOJTが十分に行われていない

B児童への支援内容

- ・ 個別支援計画に沿った支援を行っているが、プログラムの組立やクラス間の情報に課題がある

C関係機関との連携

- ・ 必要時、情報交換を行っているが、連携の取り方に課題を感じている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 日頃から子どもの状況についての情報交換を意識して行っている
- ・ 個人情報の取り扱いに関しては、定期的に注意を促している

E非常対応

- ・ 非常時、緊急時のマニュアルは策定されているが、周知徹底がされていない。また、避難訓練は、定期的実施しているが、パターンのになっている部分がある

保護者による評価

A適切な支援の提供

- ・ 子どもや保護者のニーズや課題に沿った「個別支援計画」でプログラムが行われている
- ・ 活動プログラムが固定化しないように工夫されている

B保護者への説明

- ・ 個別支援計画についての説明はされ、子どもの状況や課題については、概ね共通理解ができている
- ・ 親の会の活動や保護者同士の連携について、もっと支援があるといいという意見があった

C非常時の対応

- ・ 緊急時対応、防犯、感染症などのマニュアルについて周知が不十分である

D満足度

- ・ 概ねセンターの支援には満足であるが、クラスにより対応の差がある、センターに要望をあげても改善されないという意見があった

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 子どもや保護者のニーズや課題を分析した「個別支援計画」に沿った説明がなされ、保護者と職員の共有のもと支援がされている
- ・ 緊急時・非常時の対応について、周知徹底がされていない

【相違点】

- ・ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達への配慮は心掛けているが、保護者には十分伝わっていない部分がある
- ・ 保護者からは活動プログラムが固定化しないように工夫されているとの回答が多いが、職員は実施していく中で課題を感じている
- ・ 外部からの依頼に関しては必要時、情報交換を行っているが、関係機関との連携の取り方について課題を感じている
- ・ 親の会の活動について、保護者が求める連携のあり方と通園の支援の仕方に認識の違いがあった

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・子どもや保護者のニーズを分析して、他職種との連携のもと個別支援計画を立て、支援内容を共有しながらプログラムを進めている
- ・医療ケアや服薬・アレルギー・発作など医療情報について把握して、個別の緊急対応マニュアルを作成するなど、子どもの健康管理・安全管理を行っている
- ・クラス間の情報共有のため、少人数のグループでの情報交換・共有の場を設定している

事業所の改善点

- ・個別支援計画に沿ったプログラムを考えているが、定期的な見直し・改善（PDCAサイクル）が不十分である
- ・関係機関との連携は、機関からの問い合わせなどには適宜対応しているが、通園からの働きかけや情報共有に課題がある
- ・非常時対応や緊急時マニュアルの定期的な見直しと周知に関して、検討が必要である
- ・職員研修に関して、研修機会は設定しているが、研修内容と方法に検討が必要である
- ・親の会のあり方や通園の関わり方について、継続的検討が必要である

事業所の改善への取り組み

- ・プログラムの目的と方法を整理し、企画・実践・振り返りを職員間で検証する場を設定する
- ・関係機関との連携のひとつとして、通園の療育を知ってもらう機会を検討する
- ・保護者会などの機会に緊急時、防犯、感染症等に関する対応の説明を行っていく
- ・職種別、階層別の研修企画に沿って、現場に担任以外の職員が入り、子どもの支援やクラス運営に関して、振り返る機会をもつ
- ・親の会と通園で連携の方法についての話をする機会を設定する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

以前から取組の必要性を感じていたプログラムの実施にあたっての課題の整理、関係機関との連携、緊急時対応の周知、職員研修のあり方、親の会との連携について、改めてアンケートからもご指摘いただきました結果を真摯に捉えて、1つずつ着実に取組んでいきます

今回、アンケートにご協力していただきました保護者の方々、ありがとうございました

保護者向け アンケート

配布数:119名 回収数:78名 回収率:66%

	チェック項目	はい		どちらとも いえない		いいえ		わからない		「はい」のご意見	「どちらともいえない」のご意見	「いいえ」のご意見
適切な支援の提供	① 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	74	95%	3	4%			1	1%	・子どもの負担にならないようスモールステップだが着実に身につけている	・課題の量や難易度が適正か分かりにくい時がある	
	② 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	71	91%	6	8%			1	1%	・少しずつステップアップ出来るように工夫されている ・飽きることなく本人が楽しめるプログラムである	・内容が簡素すぎると感じる事がある(特に運動系) ・同じ内容の繰り返しを感じる	
保護者への説明等	③ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	74	95%	4	4%					・遠足などのイレギュラーの際には特に丁寧に説明がある	・父母の会の入退会について、わかりにくく混乱した	
	④ 事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	78	100%							・日頃から子どもの問題点を共有できているので、計画書も内容がよくわかる		
	⑤ 日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	74	95%	3	4%			1		・定期的な面接と普段の声かけがあるので、意思疎通が出来ていると思う		
	⑥ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の家族支援が行われているか	75	96%	3	4%					・担任とは話す機会が多いが、相談員とも定期的に話をする機会があるといい	・定期的というよりは、保護者が自発的に場を設けていると思います	
	⑦ 親の会の活動の支援や、保護者会(懇談会等)の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	61	78%	8	10%			9	12%	・特に会などはないが、毎週保護者の方々とお会いして、コミュニケーションがとれている		
	⑧ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	63	81%	5	6%			10	13%	・先生の方から聞いてもらい話しやすい環境です ・単独メモや電話など子どもの様子を伝えやすい	・グループライン作成や利用に関して、一定のルールをあおばで言うて欲しいと思う	
	⑨ 定期的に会報(クラスだより等)やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信されているか	73	94%	3	4%	1	1%	1	1%			・クラスだよりに書き漏れている事を口頭で説明して、終りという事がちょくちょくある
	⑩ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	75	96%	3	4%							
非常時等の対応	⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、保護者に周知・説明されているか	54	69%	16	21%	1	1%	7	9%	・インフルエンザの発症はメール配信されている	・防犯マニュアルを見たことがない気がします	・防犯マニュアルについては聞いたことがない。今のままだと誰でも簡単にに入れてしまうので、対策をして欲しい
	⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	68	87%	7	9%			3	4%	・避難訓練は行っているがその他の訓練はわからない	・登園頻度が少ないので、どうなっているのかわからない ・親が参加しての訓練がほとんどないのでわからない	
満足度	⑬ 子どもは通所を楽しみにしているか	71	91%	4	5%			3	4%	・安心して楽しく通っている ・幼稚園とは別の楽しみがあり、進んで通っている	・行かないという日もあるが、イベントの時は楽しみにしている	
	⑭ センターの支援に満足しているか	73	94%	5	6%					・満足していますが、療育時間が長くなるといいなと思っています	・クラス分けのことで配慮が足りないことがあった ・要望をあげているのに一向に改善されない事がある	

職員向け 児童発達支援評価項目

総数18名

		チェック項目	はい		いいえ		わからない		工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	61%	7	39%			・業務改善の話合いはされているが、十分なPDCAサイクルはなされていない
	②	保護者等向け評価表により把握した保護者等の意向等を、業務改善につなげているか	11	89%	2	11%			
	③	職員の資質の向上を行うための、研修の機会は十分か	6	33%	12	67%			・内部の研修は多かったが、外部への研修がなかった ・業務と重なり参加できないことがあった ・支援に直結する研修が少なかった
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成された「個別支援計画」に沿った支援が行われているか	17	94%	1	6%			・客観的に分析できているかという不安がある
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	72%	5	28%			・職員間の情報交換は広がってきているが、実際に他のクラスのプログラムを見られる機会があるといい
	⑥	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	83%	3	17%			・実施しているが、時間が足りずに不十分な時がある
	⑦	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	78%	4	22%			・時間が足りず十分に確認や振り返りが行えない時がある
	⑧	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	83%	3	17%			・日々記録により振り返りをしているが、必要な視点が抜けていないか不安がある
	⑨	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16	89%	2	11%			
関係機関との連携	⑩	保健センターや保育所・幼稚園等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	78%	4	22%			・幼稚園、保育園へのタイムリーな訪問ができていない ・それぞれの機関の役割、支援内容など具体的に理解できていない
	⑪	(医療的ケア児や重症心身障害児について)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	9	50%	6	33%	3	17%	・通園としての大枠は把握しているが、担当以外について、詳細をしらない
	⑫	(医療的ケア児や重症心身障害児について)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12	67%	4	22%	2	11%	・通園としての大枠は把握しているが、担当以外について、詳細をしらない
	⑬	移行支援として、保育所や、幼稚園、小学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	83%	3	17%			
保護者への説明責任等	⑭	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	89%	2	11%			・保護者の方に十分伝わっているかの確認が必要である
	⑮	事前に作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	18	100%					
	⑯	日頃から子どもの状況を保護者と職員とで伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	17	94%	1	6%			・電話や面談を適時行うようにしている
	⑰	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と家族支援を行っているか	15	89%	3	11%			・必要としていることに気づけているのか、応じられているのか、いつも心配な点である ・親子日の時間の使い方を工夫が必要となる
	⑱	親の会の活動の支援や、保護者会(懇談会等)の開催等により保護者同士の連携を支援しているか	18	100%					
	⑲	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	100%					
	⑳	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等を子どもや保護者に対して発信しているか	16	89%	2	11%			
	㉑	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	83%	3	17%			・外部の人の出入りがあるので、誕生日表や写真などの掲示に留意が必要である。
非常時等の対応	㉒	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知されているか	10	56%	18	44%			・マニュアルはクラスには置いてあるが、周知は不十分で、見直しや不審者対策訓練の実施が必要である
	㉓	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	89%	2	11%			・定期的に訓練は行っているが、予定しての訓練で、現実的な訓練になっていない
	㉔	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	18	100%					・看護師なども事前に確認をして、療育中に変化があった場合は、速やかに対応している
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	17	94%	1	6%			・栄養士とも確認して、マニュアルに沿って厨房、クラスで対応している
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	61%	7	39%			・共有はされているが、事例集としてまとまっていないので、今後の予防対策に不十分である
	㉗	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応がなされているか	11	61%	7	39%			・研修機会は増えているが、組織的に意識、環境の改善が必要である
	㉘	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	8	44%	10	56%			・身体拘束に当たる事項を明確にして、保護者との共有をしておく

※この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センターの職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。